

令和5年度 年間指導計画

A科:生物科学科 B科:環境科学科 C科:食農科学科

教科名	農業	科目名	作物	単位数	2	履修学年・クラス	1A
担当者		使用教材	作物(実教出版)				
学習目標	<p>○作物の生産と経営について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。</p> <p>○作物の生産と経営に関する課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。</p> <p>○作物の生産と経営について生産性や品質の向上が経営発展へつながるよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的か協働的に取り組む態度を養う。</p>						
学習方法	<p>○イネの栽培を通して、栽培技術を習得し、経営に必要な実践力を身に付ける。</p> <p>○イネの生理的特徴について理解を深め、課題を発見するための基礎的思考力を身に付ける。</p> <p>○収穫したコメの試食や加工を通じて、食品としての活用方法について学び、農業の振興に取り組む態度を身に付ける。</p> <p>○学習内容を総合し、我が国の食料自給について深く考えさせ社会貢献に主体的・協働的に取り組む態度を身に付ける。</p>						
学習評価	評価の観点		科目の評価の観点の趣旨				
	知	知識・技能(技術)	イネの栽培に関心を持ち、その生理的特徴について深く理解しようとしている。また、栽培に必要な基礎的技術をみにつけてようとしている。				
	思	思考・判断・表現	イネの栽培に関する諸課題を科学的にとらえて合理的に思考する能力を身に付けている。				
	態	主体的に取り組む態度	コメの生産性や品質の向上が経営発展につながることを理解している。				
※定期考査については、上記の観点それぞれについて学習内容に応じて適切に配分しています。							

学期	単元(題材)	学習内容	評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			知	思	態		
前期中間	1 種子の予措・播種	・種子の消毒・浸漬 ・種子の発芽	○	○		[知]イネの育苗から移植について基礎的な知識を習得している。 [思]イネの育苗の条件を理解している。 [態]イネの育苗と移植について労働コストを理解している。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	2 育苗	・播種 ・苗の水管理・温度管理	○	○			
	3 移植	・機械移植の方法と利点 ・手作業移植の方法と労働コスト	○	○	○		
前期末	4 分けつ	・生育調査 (草丈、葉齢、茎数)	○	○		[知]イネの生育の仕方について理解している。 [思]肥料の効果・土壌条件と生育の関係を理解している。 [態]栽培条件が生育に与える影響を理解している。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	5 施肥	・肥料の三要素と効果 (NPKの役割)	○	○			
	6 耕起・代かき	・水田の土壌 ・耕起と代かきの目的	○	○	○		

後期中間	7 出穂	・出穂のしくみ ・登熟期調査	○	○	○	[知]イネの出穂と穂のなりたちについて理解している。 [思]栽培条件と登熟の関係を理解している。 [態]収穫の方法と労働生産性の関係について理解している。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	8 収穫	・登熟に必要な積算温度 ・機械収穫 ・手作業による収穫	○	○	○		
後期末	10 乾燥調製	・火力乾燥 ・自然乾燥	○	○	○	[知]収量のなりたちについて理解している。 [思]栽培条件と収量の関係を理解している。 [態]食料としてのコメについて重要性を理解している。また、経営上の課題をみいだすことができる。	定期考査 ポートフォリオ 観察
	11 収量調査	・収量のなりたち ・異なる条件による収量の違い	○	○	○		
	12 試食・加工	・収穫したコメの試食 ・コメの加工と加工品	○	○	○		